



【世界食料デー記念シンポジウム】

食料問題を考える、 『食品ロス』を知ろう！

2019年 10月18日(金) 15:30-17:30 (開場15:00)

会場：国連大学 1F アネックススペース (住所：東京都渋谷区神宮前5-53-70)

毎年10月16日は、世界の食料問題を考える日として国連が制定した「世界食料デー」です。今、世界では全ての人々が食べられるだけの食料はあると言われていますが、実にその9人に1人が飢餓に苦しんでいます。その反面、毎年、生産された食品の3分の1にあたる13億トンが廃棄されるという、食品ロスの問題が起きています。

日本では、10月1日から「食品ロス削減推進法」が施行され、行政、企業、そして消費者が食品ロス削減を実践する段階になっています。

今回のシンポジウムでは、国連食糧農業機関（FAO）との共催により、食品ロスの問題に深く精通する講師陣によるパネルディスカッションを通じ、「食品ロス」についてご理解いただく機会を提供します。企業や自治体関係者、学生の方々など、幅広い層からの参加をお待ちしております。



ロサ・ロール

（FAO栄養食料システム部企業開発上級専門官）FAO栄養食料システム部において食料ロス・廃棄の削減への課題に対応するチームを率いる。オハイオ州立大学（米国）にて食品科学に関する修士号および博士号を取得。



江口 洋人

（横浜市資源循環局 政策調整部 3R推進課長）1997年入庁。住民登録、廃棄物収集、病院経営改革、市長秘書などの部署を経て、2017年から現職。現在は廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進するための企画調整、広報啓発を担当。



金丸 治子

（イオン株式会社 環境・社会貢献・P・R・I・R担当付 担当部長）2013年9月イオン株式会社グループ環境・社会貢献部長。2019年3月からは担当役員付として、引き続き社外を中心に環境・社会貢献業務を担当。グループ目標の食品廃棄物半減に取組む。



横尾 祐介

（クリエイティブクッキングバトル実行委員会代表、クックパッド株式会社コーポレートブランディング部長）マインドシフトプランナー。アリモノからおいしい料理をつくることは生活の中で最もクリエイティブな行為であるをコンセプトにクリエイティブクッキングバトルを主催。



井出 留美

（ジャーナリスト、株式会社 office 3.11代表取締役）食品ロス問題ジャーナリスト。博士（栄養学）。近著「食品ロスをなくしたら1か月5000円の得」「賞味期限のウソ」。食品ロス問題を全国的に注目されるレベルまで引き上げたとして、第二回食生活ジャーナリスト大賞・Yahoo!ニュース個人オースアワード2018受賞。

（講演順・敬称略）

★日英同時通訳★

＜第一部：15:30-16:35＞

開会挨拶 中山 展宏 外務大臣政務官（予定）

共催者挨拶 三原 香恵 （FAO駐日連絡事務所 副所長）

プレゼンテーション

ロサ・ロール （FAO栄養食料システム部 企業開発上級専門官）

江口 洋人 （横浜市資源循環局 政策調整部 3R推進課長）

金丸 治子 （イオン株式会社

環境・社会貢献・P・R・I・R担当付 担当部長）

横尾 祐介 （クリエイティブクッキングバトル実行委員会代表、

クックパッド株式会社コーポレートブランディング部長）

井出 留美 （ジャーナリスト、株式会社 office 3.11代表取締役）

＜第二部：16:45-17:30＞

パネルディスカッション・質疑応答

モデレーター 高林 宏樹 （外務省経済局経済安全保障課長）

開会挨拶 宮原 慎太郎 （消費者庁消費者教育推進課長）

参加登録方法：Eメール（mofa-fao-events@mofa.go.jp宛）に、お名前・ご所属・Eメールアドレス・電話番号を記入しお送りください。（締切：10月15日）※お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

お問い合わせ先：外務省経済局経済安全保障課 TEL: 03-5501-8339（担当 小川・石垣・小林）

その他：会場に駐車場はございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。



【主催】外務省

【共催】国連食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所

【後援】消費者庁



食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT